



第26回 日本赤十字看護学会学術集会のご報告

第26回日本赤十字看護学会学術集会
会長 佐藤 章子

第26回日本赤十字看護学会学術集会は、2025年7月19・20日に福岡市で開催し、全国から628名の参加を得て盛会に終わることができました。テーマ「未来を照らす赤十字看護の光～変わらないために変わる～」のもと、赤十字看護が大切にしてきた本質を見つめ直し、変化の時代における新たな可能性を共有する機会となりました。講演・シンポジウム・交流セッションなど多彩なプログラムを通して、活発な議論が交わされ温かな交流が広がり、熱気あふれる真夏の2日間となりました。また、企業展示ブースやランチンセミナーも賑わいを見せ、楽しんでいただけたようでした。



終了後のアンケート（回答率45%）では、初めての参加59%、全体的な満足度は「非常に満足」「満足」を合わせ94%でした。本学術集会の構成・運営・学びの質について高い評価を得ることができ、日本赤十字看護学会の存在と活動を多くの方に認識していただけたと思います。

ご参加・ご協力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

2025年8月14日



大学の名称変更 「秋田」から「東北」へ

日本赤十字東北看護大学 学長 原 玲子

本学は、東北地方に唯一の赤十字の看護大学ですが、このことについて、県内外において、周知されているとは言えない状況があり、東北で唯一であることを明確にし、広報活動や社会貢献の拡大を図ることを目的に、2025年4月より、本学の名称内の「秋田」を「東北」に変えて、「日本赤十字東北看護大学」と変更しました。

本学は、1896年に、日本赤十字社秋田県支部で救護看護婦の養成を開始したのを起源としており、今年で129年になります。1996年に秋田赤十字看護専門学校を受け継いだ短期大学が開設され、2009年4月に4年制大学が開学しました。建学の精神および教育の理念は、明治、大正、昭和、平成、令和と時代が変革する中でも変わらずに、赤十字の基本理念である「人道」です。大学名称の変更により、本学の役割を一層自覚して、赤十字が培ってきた看護を伝承しつつ、新しい時代における赤十字看護師の育成を目指します。



第27回日本赤十字看護学会学術集会のご案内

第27回日本赤十字看護学会学術集会
会長 佐々木幾美



この度、第27回日本赤十字看護学会学術集会長を拝命いたしました佐々木幾美と申します。テーマは「赤十字看護のマインドを未来へ 繋ぐ 育む 拓く」で、2026年6月13日（土）、14日（日）に日本赤十字看護大学（渋谷区広尾4-1-3）にて開催いたします。

地球温暖化の影響による自然災害が多発し、武力紛争による人道危機が起こるなど、人々の生命や生活が脅かされる状況があり、苦しむ人々を全人的に支援することが求められています。赤十字看護のマインドとは、「人々の命と健康を守り、苦痛を軽減し、人間の尊厳を確保する」という看護実践での中核となる精神性であり、このような時代にこそ必要なマインドではないかと考え、テーマにいたしました。

特別講演では川嶋みどり先生にご登壇いただくほか、教育講演やテーマセッション等、今日的なテーマでプログラムを構成し、ご参加いただく皆様にとって有意義な時間となりますよう、準備しております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

このニュースレターが届く頃は、（短いといわれる）秋がやってきてくれることを願いつつ第23号をお届けします。東北地方に唯一の赤十字看護大学を明示して大学の名称を変更した学長メッセージをご覧下さい。（井部）

日本赤十字看護学会ニュースレター第23号 2025年9月発行
Japanese Red Cross Society of Nursing Science Vol.23, 2025.

- 発行 日本赤十字看護学会 広報委員会
東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内
- 学会ニュースレターに関する皆様のご意見・ご感想は下記まで
j_rcsns@redcross.ac.jp